

住宅用太陽光発電設備等導入促進補助金（交付申請用）チェックシート

申請者

提出者

受付

提出前にチェックしてください▼

	申請者	市
<b>(ア) 補助金交付申請書【様式第1号】原本1部</b>		
1	申請者の自署又は押印がされている（ゴム・スタンプ印は不可）。	
<b>(イ) 事業計画書【様式第2号】</b>		
2	補助対象経費は税抜きで記入されている。	
3	モジュールとパワーコンディショナーを比較し、低い方の出力が記入されている（小数点以下切捨）。	
4	蓄電池容量は小数第2位以下を切捨てた値が記入されている。	
5	蓄電池の容量が4,800Ah・セル相当のkWh(=17.76 kWh)未満であること。	
6	費用効率性が25万円/t-CO2を上回っていない。	
7	契約予定日が申請日以降になっている（申請日から1か月後を目安）。	
8	完了予定日（設備が稼働できる状態になる日）が令和8年12月31日以前になっている。	
9	自家消費電力の見込みが30%以上となっている。	
<b>(ウ) 誓約書兼同意書【様式第3号】原本1部</b>		
1	申請者の自署又は押印がされている（ゴム・スタンプ印は不可）。	
<b>(エ) 蓄電システム価格に関する誓約書（蓄電池価格が12万5千円/kWh（工事費込み・税抜）を超える場合）</b>		
1	申請者の自署又は押印がされている（ゴム・スタンプ印は不可）。	
<b>(オ) 市税などの滞納がないことを証明する書類（申請時に廿日市市外に居住している場合、実績報告時に提出）</b>		
1	3ヶ月以内に交付された原本である。	
<b>(カ) 世帯全員の住民票</b>		
1	（ア）交付申請書の申請者氏名、（イ）事業計画書の設置予定場所の住所と一致している。	
2	3ヶ月以内に交付された原本である。	
<b>(キ) 発注前が見積書の写しとその内訳書</b>		
1	宛名は申請者本人のフルネームである。	
2	申請時点で見積書の有効期限を過ぎていない。	
3	販売（施工）事業者の押印がある。	
4	太陽光発電設備、蓄電池ごとの設備購入費と工事費の内訳が明記されている。	
<b>(ク) 補助対象設備についてのカタログ又は仕様書</b>		
1	製造者（メーカー）が確認できる。	
2	型式番号・形状・出力・容量等が確認できる。	
3	該当する箇所をマーカーなどで明示している。	
<b>(ケ) 直近1年間の使用電力量が分かる書類</b>		
1	（イ）事業計画書の「5 電力の自家消費計画」欄に記入した想定自家消費量を大幅に下回っていない。	
<b>(コ) ソーラーカーポートチェックシート（ソーラーカーポートを設置する場合）</b>		
1	すべての項目にチェックがされている。	
<b>(サ) 蓄電池仕様チェックシート（蓄電池を設置する場合）</b>		
1	すべての項目にチェックがされている。	
<b>(シ) 補助対象設備の設置予定図</b>		
1	平面図、機器配置図、システム系統図又は単線結線図がある。	
<b>(ス) 補助対象設備設置前の現況カラー写真</b>		
1	設置予定の住宅の全景（外観）写真をカラーで添付している。（新築の場合は建設地の写真）	
2	設置予定箇所の写真をカラーで添付している。	
<b>(セ) 住宅の周辺図</b>		
1	設置する住宅の場所が分かるよう、マーカーなどで明示している。	
<b>(ソ) 口座振替依頼書（市に口座登録がない場合）</b>		
1	申請者の自署又は押印がされている（ゴム・スタンプ印は不可）。	
2	申請者本人名義の口座である。	
<b>(タ) 承諾書（住宅の所有者が申請者と異なる場合）</b>		
1	承諾者（=建物所有者）の自署又は押印がされている（ゴム・スタンプ印は不可）。	
2	物件の所有者・共有者全員分の承諾書がある。	
<b>(チ) 委任状（申請書類の提出を委任する場合）</b>		
1	委任者（=申請者）の自署又は押印がされている（ゴム・スタンプ印は不可）。	
<b>【申請時に未入居の場合】</b>		
※（カ）住民票は不要です。また、申請時に廿日市市外に居住している場合、（オ）滞納がない証明も不要です。いずれも実績報告までに住民票の異動を完了し、実績報告時に提出してください。		
※ 下記（ツ）本人確認書類の写しを提出してください。		
<b>(ツ) 本人確認書類の写し</b>		
1	申請者本人のものである。	